



ジェファーソンホテル「The Jefferson Hotel」正面エントランス車寄せ。前オバマ大統領をはじめ、実に12人も歴代大統領が宿泊したという、リッチモンドを代表する由緒正しきホテルだ。それ故、ホテルは全米組織「Historic Hotels of America」のメンバーにもなっている



ホテルエントランス門柱にForbesのファイブダイヤモンドのプレート掲げる。1895年の創業で、地元で屈指の評価を誇る老舗名門ホテルである



ジェファーソンホテルのもう一方のエントランス。優雅なファサードが印象的だ

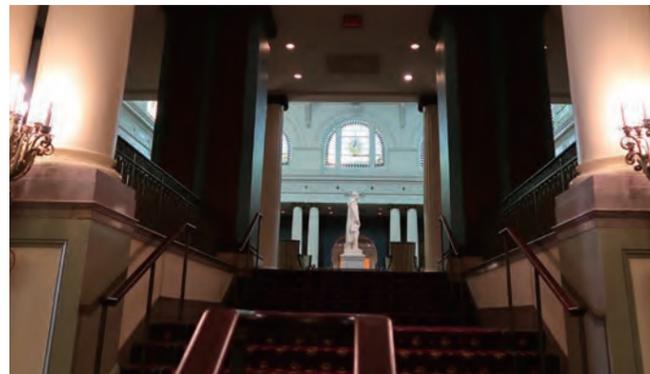


筆者 **小原 康裕**  
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRC、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会理事。

[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

現在、筆者のホームページで  
「世界のリーディングホテル」を連載中。  
多くの美しい写真と興味深いコメントで、  
世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



大階段から望む白亜のジェファーソン像。バージニア州出身、第3代アメリカ合衆国大統領トーマス・ジェファーソンの名を冠したゆかりのホテルだ



往年の名画「風と共に去りぬ」に登場する邸宅の大階段は、このホテルの華麗なステアケースがモデルになったと言われている。所説はあるが、それにしてもこの大階段は迫力があり、スカーレット・オハラが優雅に階段を下りて来る姿が容易に想像できよう



華麗なステンドグラスから入ってくる自然光が、トーマス・ジェファーソンの大理石の銅像を中心に照らしている



大階段から俯瞰する壮麗なグランドホール



エントランスホール奥にあるレセプションデスク



ジェファーソンホテルの歴史資料を収録した展示ルームが大階段下に設けてある。1895年の創業時から多くの写真や滞在した歴代大統領の貴重な資料を展示。大階段下の展示ルームには1895年創業時からの多くの写真や滞在した歴代大統領の貴重な歴史資料を収録

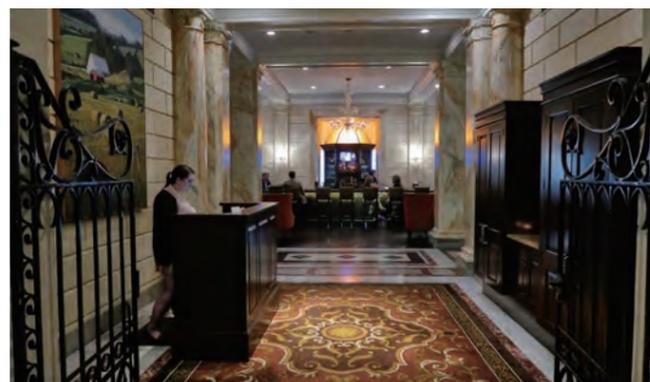
世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

### The Jefferson Hotel

バージニア州の州都リッチモンドは日本ではあまり馴染みが薄いが、アメリカ独立戦争時の1861年に創設された南部同盟の首都が置かれた場所だ。当時、バージニア州は南部諸州と共にアメリカ合衆国から離脱し、黒人奴隷制度を維持する南部同盟の雄として大きな役割を果たした都市である。しかし、その後勃発した南北戦争に



メインダイニング「LEMAIRE」はディナー専用で、エレガントな雰囲気の中、地元バージニア料理が楽しめる



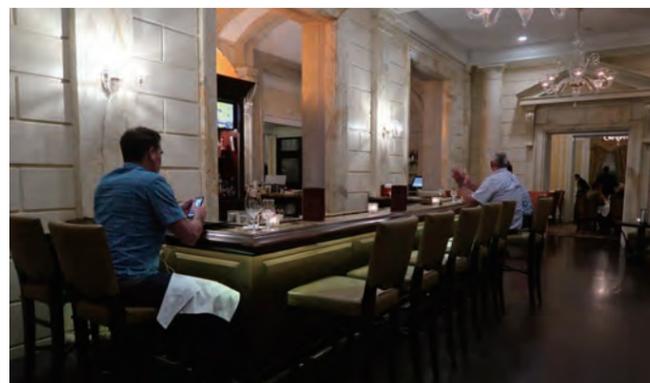
メインダイニング「LEMAIRE」の重厚なレセプションホール



メインダイニング「LEMAIRE」のフォーマルセッティング



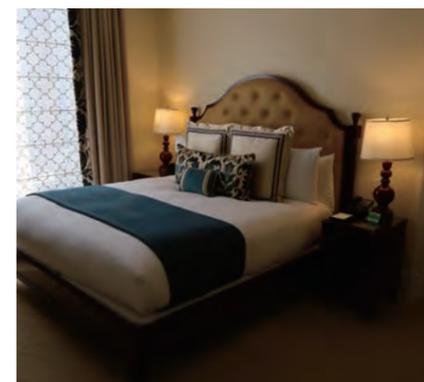
カジュアルダイニング「TJS」でのブレックファストは質が高い



メインダイニングに付属したバーカウンター



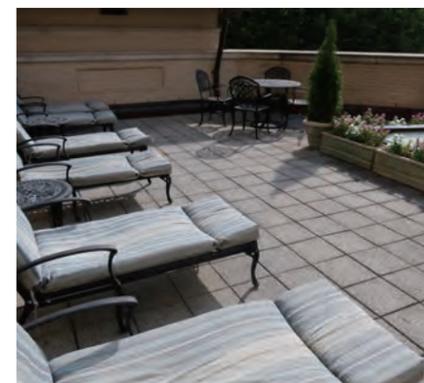
ホテルを代表するトップスイート「The Jefferson Suite」のゴージャスなリビングルーム。約130㎡の広さを持ち、リビング、ダイニング、そしてトラディショナルなテラスを持つスイートだ



トップスイート「The Jefferson Suite」の落ち着いたベッドルーム



南北戦争当時を彷彿とさせる南部様式のトラディショナルなテラス



スイミングプール脇に用意されたリラクゼーションテラス



スパ施設にはトリートメント、ジム、スイミングプールのほか、レディースサロン「Salon Vivace」も用意している

よる戦乱で南軍は大敗を帰したのはご承知の通りだ。このリッチモンドに南部の重要な歴史を持つホテルが存在する。ホテルの名はジェファーソンホテル「The Jefferson Hotel」。1895年の創業で、Forbesのファイブダイヤモンドを獲得し、地元で屈指の評価を誇る老舗名門ホテルである。

ジェファーソンホテルは前オバマ大統領をはじめ、実に12人もの歴代大統領が宿泊したという、リッチモンドを代表する由緒正しきホテルだ。それ故、ホテルは全米組織「Historic Hotels of America」のメンバーにもなっている。エントランスホールはスタンドグラスから入ってくる自然光が、トーマス・ジェファーソンの大理石の銅像を中心に照らしている。また、往年の名画「風と共に去りぬ」に登場する邸宅の大階段は、このホテルの華麗なステアケースがモデルになったと言われている。所説はあるが、それにしてもこの大階段は迫力があり、スカーレット・オハラが優雅に階段を下りて来る姿が容易に想像できよう。

ジェファーソンホテルはバージニア州出身、第3代アメリカ合衆国大統領トーマス・ジェファーソンの名を冠したゆかりのホテルである。正面エントランスホール中央に鎮座する白亜のジェファーソン像の周りは優雅なラウンジになり、アフタヌーンティーを楽しむゲストで賑わう。今回はトップスイート「The Jefferson Suite」を紹介したい。約130㎡の広さを持ち、リビング、ダイニング、そしてトラディショナルなテラスを持つスイートだ。メインダイニング「LEMAIRE」はディナー専用で、エレガントな雰囲気の中、地元バージニア料理が楽しめる。カジュアルダイニング「TJS」でのブレックファストは質が高い。スパ施設にはトリートメント、ジム、スイミングプールのほか、レディースサロン「Salon Vivace」も用意している。

ジェファーソンホテルの歴史資料を収録した展示ルームが大階段下に設けてある。1895年の創業時から多くの写真や滞在した歴代大統領の貴重な資料など興味深いもので必見といえる。アメリカ建国の創成期、南北戦争の激戦地となったリッチモンド。遙かな歴史に思いを馳せ、ホテルのバーでグラスを傾けるのも一興である。